

久米島の松くい虫被害と対策



松くい虫被害が島全体に急速に広がっています。久米島町では、「五枝の松」、「ナガタケ松並木」などの島の貴重な松の木は集中的な防除対策で守り抜きつつ、防除の手が及ばない松は、あえて早めに枯れさせることで流行の早期収束を目指しています。

重要な松の木を守るため、樹幹注入や薬剤散布により病気の感染を予防し、周辺の枯れた松を伐倒駆除して感染源の除去をすすめています。



樹幹注入



伐倒駆除

久米島の森林の今後



久米島の森林に松以外の樹種を増やすことで、松くい虫被害の再燃を防げます。

久米島らしい豊かな自然を維持するため、どのような森林にしていけばよいか、一緒に考えていきましょう。



皆さまにお願いします！



- * 今後数年間は被害木が多数発生します。流行を早期に終わらせるために必要ですので、ご理解ください。
- * 枯れた松の幹・枝は、島内でも島外にも、移動しないでください。
- * 個人の庭などの松の木を守るには、自主的に樹幹注入をお願いします。
- * 松くい虫被害や対策についての講演会・技術指導会にご参加ください。

久米島の
リュウキュウマツを
松くい虫から守ろう



松くい虫被害は、対策の難しい流行病

松くい虫被害は、海外から入ってきた流行病で、リュウキュウマツには抵抗性はありません。久米島の前に沖縄島や奄美諸島でも被害が発生し、いずれも制圧できずに、流行が現在まで続いています。

病原体の線虫は、感染・枯死した松の幹枝の中にいます。同じ場所にいるカミキリムシに運ばれて春～夏に新たな松に感染します。

病原線虫は松にしか感染しません。人間や農作物など、他の動植物には影響しません。

防除のための3つの方法

①伐倒駆除

枯死した松を伐って、幹枝を焼却またはくん蒸し、中にいるカミキリムシの幼虫を殺します。枯れた年度の翌春までの処理が必要です。地域で発生した松の枯れ木のほぼすべてを処理できれば、数年で流行が収まります。

②樹幹注入

未感染の健全な松に、薬剤を注入して感染を予防します。処理に成功すれば高い確率で長期間（最長7年）木を守れます。ただし、木に負担をかけるので、何度も処理を繰り返すのは困難です。

③薬剤散布

健全な松の枝葉に薬剤をかけて、飛来するカミキリムシを殺す方法です。感染をかなり抑えられますが、ゼロにはできないので、伐倒駆除などとの組合せが必要です。

久米島での被害の特徴

久米島では令和3年に初めて松くい虫被害が確認され、久米島町と沖縄県はただちに防除の対策を始めました。

久米島は松の木が大変多い島です。そのため流行が非常に早く拡大しました。流行初期に被害を根絶するには、すべての枯死木を伐倒駆除する必要があります。しかし、島内・県内の駆除能力を超える枯死木が出てしまったのです。

重要な松を守り抜く

そこで、久米島町と沖縄県は、松くい虫被害をすぐに根絶することは困難と判断し、島にとって重要な松を守り抜くという方針をとり、防除戦略を立てました。

*重要な松の保全

五枝の松、ナガタケ松並木、学校の校庭や大事な園地の木、景観上重要な街路樹など、文化財や地域のシンボルとなる松に、樹幹注入処理を行っています。樹幹注入だけでは確実にないので、周囲の伐倒駆除や薬剤散布を組み合わせています。

*資源の保全

リュウキュウマツは琉球列島の貴重な固有種で、久米島の松は貴重な資源です。そこで、被害が未侵入の島南部の松林の一部で、ドローンを使った薬剤散布を検討するなどして、松を保全できないか挑戦しています。

*安全の確保

道路や建物の周辺で発生した枯死木は極力除去しています。

5年で松を守れる島にする「戦略的放置」

重要な松への樹幹注入処理が有効な5年程度の間に、久米島の松くい虫被害の流行をおさえることが大事です。コロナ対策では「三密」を避けることが強調されましたが、松くい虫被害も流行病なので、松の密度を下げる、松の数を減らすことが大きな対策になります。

すでに被害が始まった松林で、多少の防除を行っても松を守れません。そこで、重要な松（周辺松林を含む）以外は、あえて被害を放置して、流行が一気に起こるのを見守ります。これを「戦略的放置」といいます。こうすることで、数年のうちに松の木の数・密度が劇的に低下します。それによって、守りたい松の木や林を守れる島をつくることのできるのです。

流行を繰り返させないための樹種転換

沖縄県では、松くい虫被害跡地で、残った種子から育った松が感染し、被害が再流行しています。この経験から久米島では島内の森林や園地、畑地などに松が再生しないよう、有用な広葉樹など別の樹木に置き換える取り組みが必要です。

松をはじめ島の緑・森林を守るためにどうしたらよいか、みんなでその設計図を考えていきましょう。